

調査結果の分析

1. 定住性

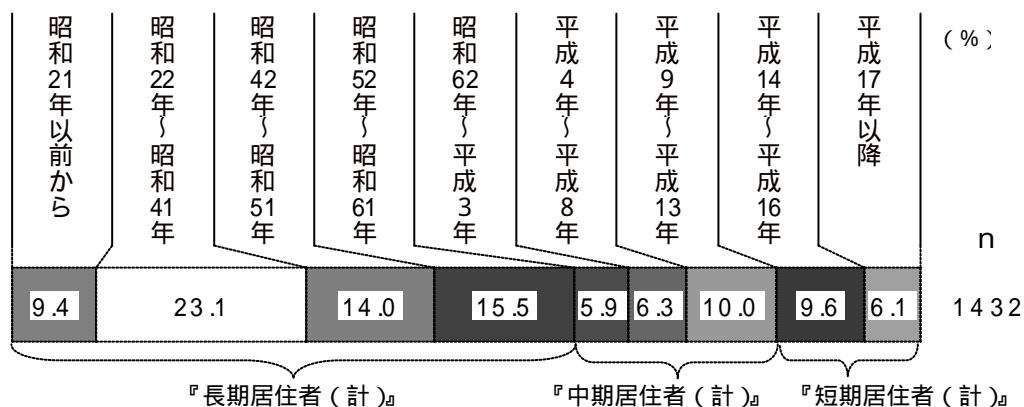
(1) 居住開始時期

居住年数 20 年以上の長期居住者が 6 割を超える

(全員の方に)

問1. あなたは、いつ頃から大田区に住んでいますか。(1つだけ)

図1-1-1



居住開始時期について聞いたところ、「昭和 21 年以前から」(9.4%)、「昭和 22 年 ~ 昭和 41 年」(23.1%)、「昭和 42 年 ~ 昭和 51 年」(14.0%)、「昭和 52 年 ~ 昭和 61 年」(15.5%) の 4 つを合わせた、大田区に 20 年以上居住している『長期居住者(計)』(62.0%) が 6 割を超えている。「昭和 62 年 ~ 平成 3 年」(5.9%)、「平成 4 年 ~ 平成 8 年」(6.3%)、「平成 9 年 ~ 平成 13 年」(10.0%) の 3 つを合わせた、居住年数が 5 年以上 20 年未満の『中期居住者(計)』(22.2%) は 2 割を超え、「平成 14 年 ~ 平成 16 年」(9.6%) と「平成 17 年以降」(6.1%) を合わせた、居住年数が 5 年未満の『短期居住者(計)』(15.7%) は 1 割半ばである。(図 1 - 1 - 1)

大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、前回調査の結果と比較すると、居住年数が20年以上の『長期居住者』、居住年数が5年～20年未満の『中期居住者』、居住年数が5年未満の『短期居住者』の割合は、前回とほとんど変わっていない。(図1-1-2)

地域行政センター管内別に見ると、居住年数が20年以上の『長期居住者』は、大田東地域行政センター管内ではほぼ7割と多く、逆に大田西地域行政センター管内では5割を超える程度になっている。居住年数が5年～20年未満の『中期居住者』は、大田西地域行政センター管内で3割近くと多くなっている。居住年数が5年未満の『短期居住者』は、各管内とも大きな差はみられない。

(図1-1-3)

図1-1-2 居住開始時期 - 過年度比較

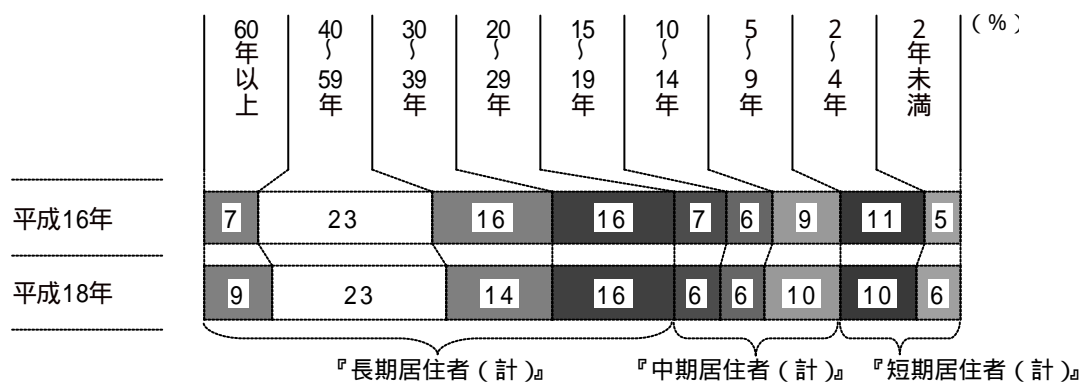
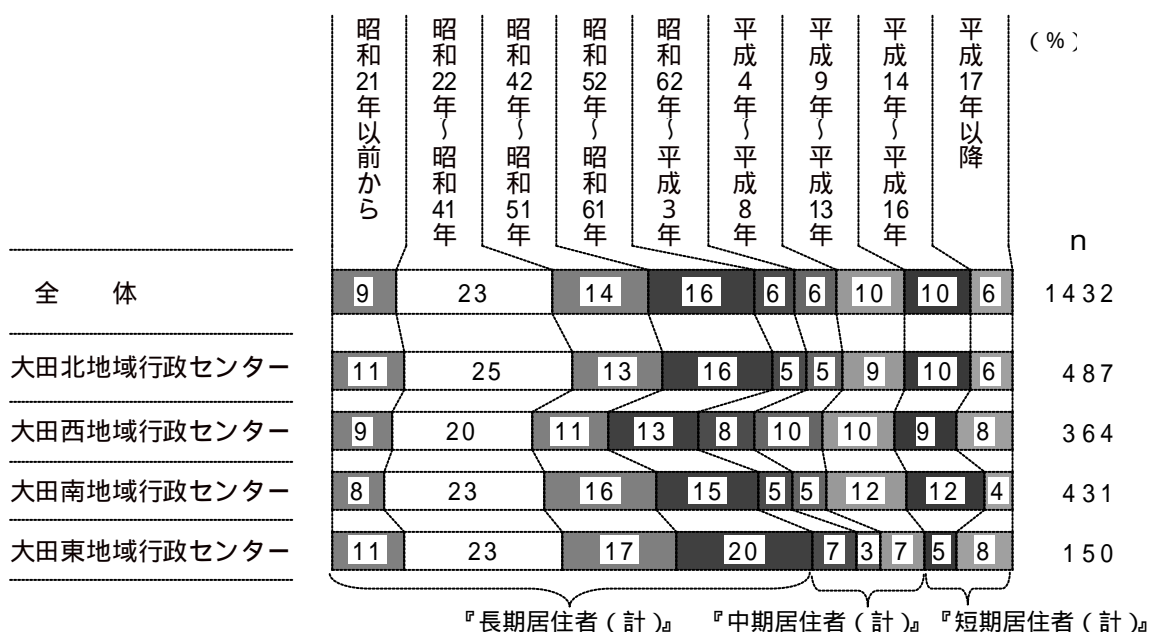
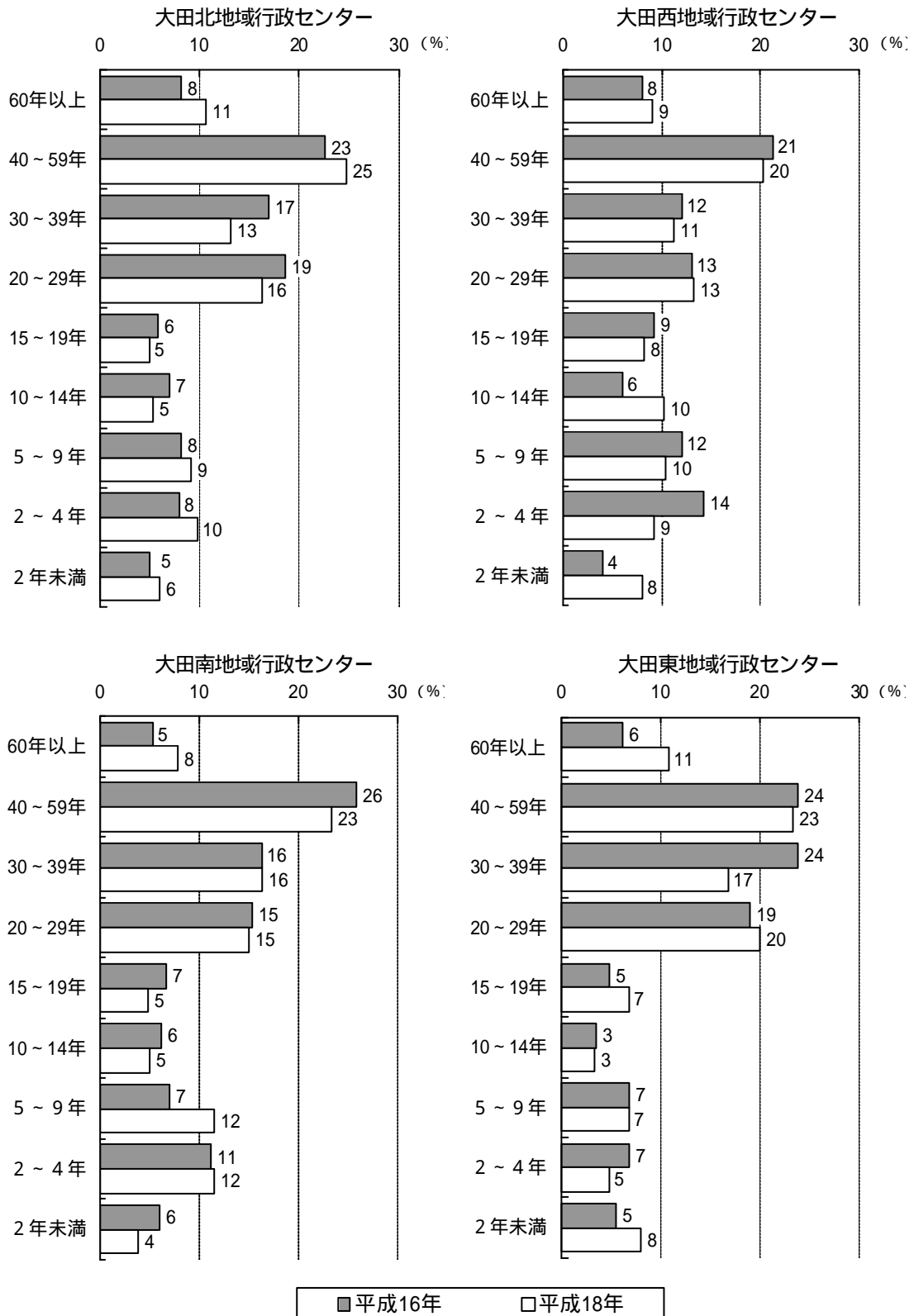


図1-1-3 居住開始時期 - 地域行政センター管内別



大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、地域行政センター管内別に前回調査の結果と比較すると、居住年数が5年未満の『短期居住者』は大田北地域行政センター管内で3ポイント増加している。居住年数が20年以上の『長期居住者』、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者』は、各管内とも大きな変化はみられない。(図1-1-4)

図1-1-4 居住開始時期 - 地域行政センター管内別 (過年度比較)



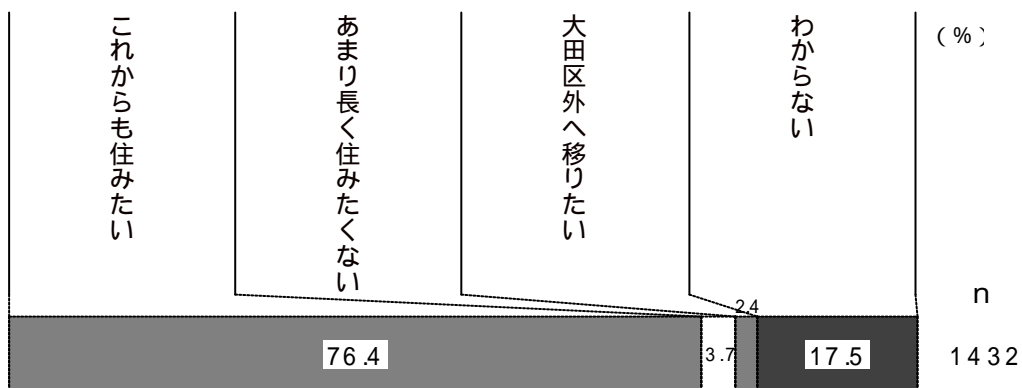
(2) 定住意向

「これからも住みたい」が7割半ば

(全員の方に)

問2 . これからも大田区に住みたいと思いますか。(1 つだけ)

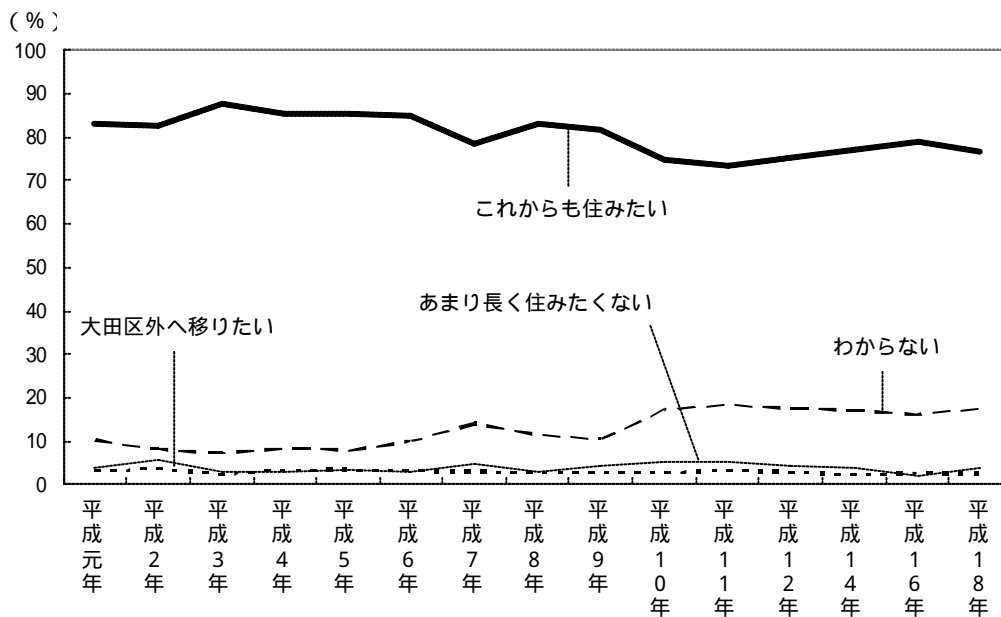
図 1 - 2 - 1



定住意向について聞いたところ、「これからも住みたい」(76.4%)と答えた定住意向の人は7割半ばで、「あまり長く住みたくない」(3.7%)と「大田区外へ移りたい」(2.4%)を合わせた転出意向のある人は6.1%となっている。(図 1 - 2 - 1)

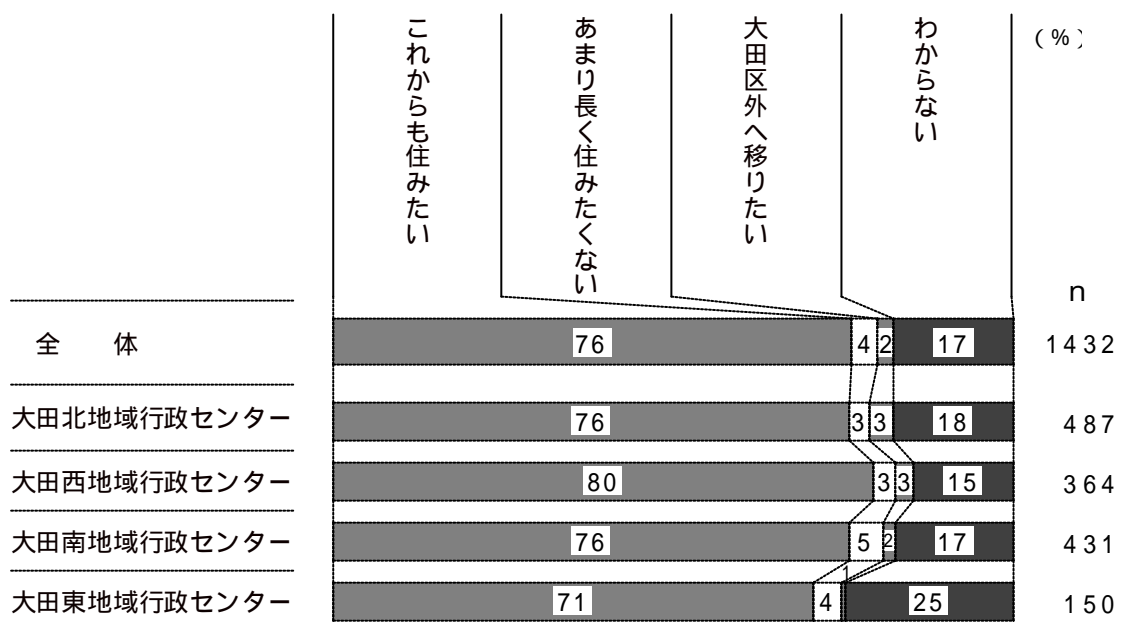
平成元年からの定住意向の推移をみると、「これからも住みたい」は7割を超える高い割合を維持している。(図 1 - 2 - 2)

図 1 - 2 - 2 定住意向 - 過年度比較



地域行政センター管内別にみると、いずれの管内においても「これからも住みたい」が7割を超え、「あまり長く住みたくない」、「大田区外へ移りたい」はわずかである。(図1-2-3)

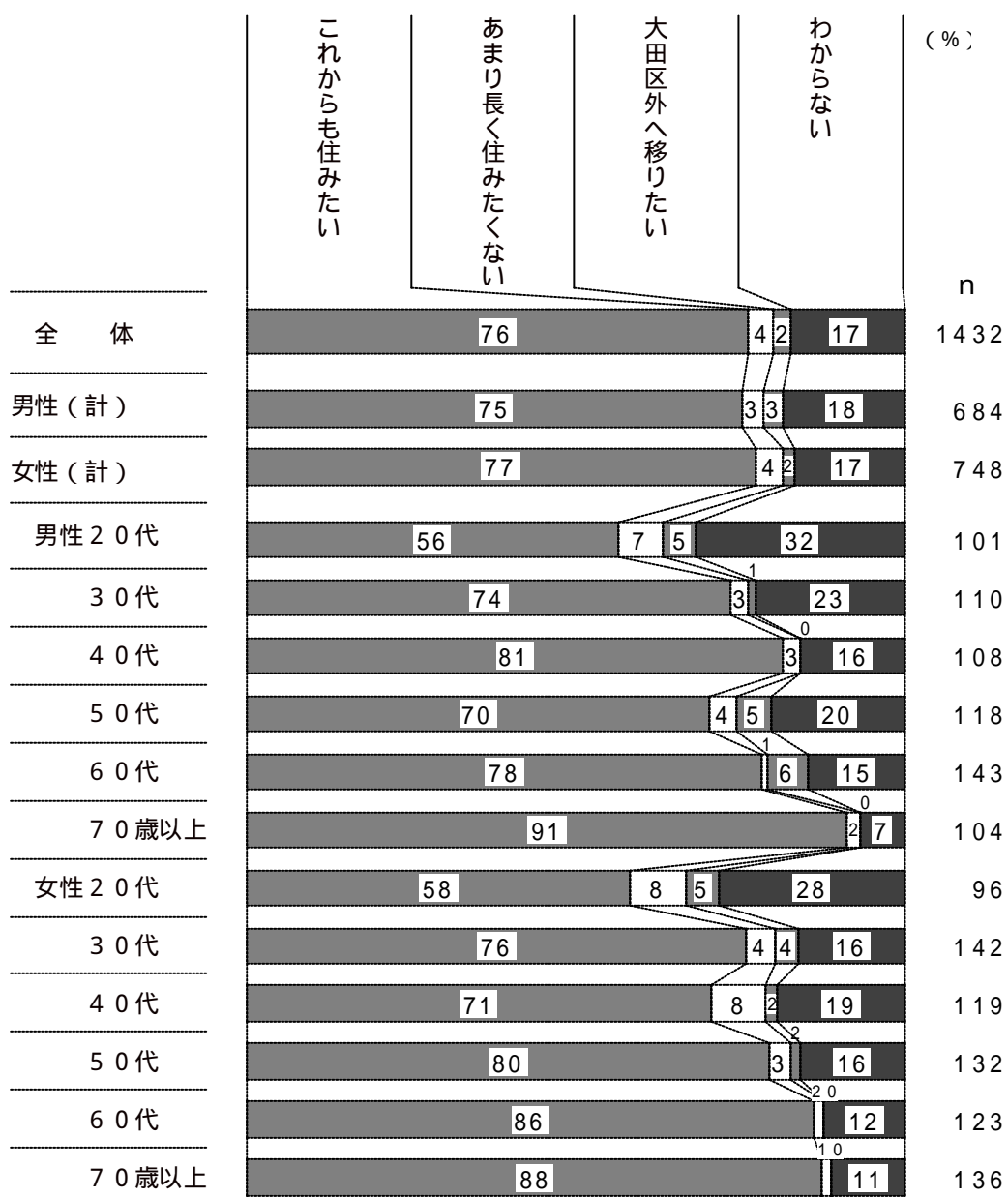
図1-2-3 定住意向 - 地域行政センター管内別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

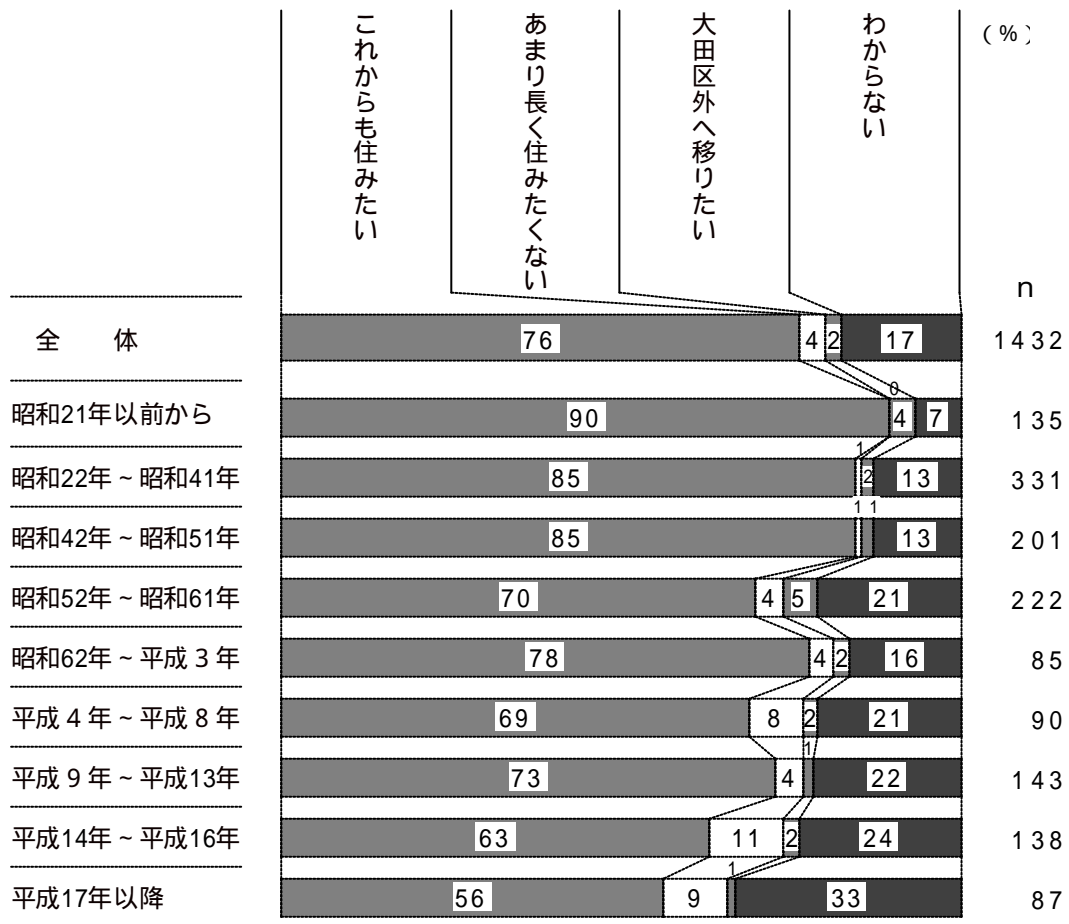
性・年代別にみると、「これからも住みたい」は男性 70 歳以上では 9 割を超え、女性の 60 代以上の年代でも 9 割近くに達している。(図 1 - 2 - 4)

図 1 - 2 - 4 定住意向 - 性・年代別



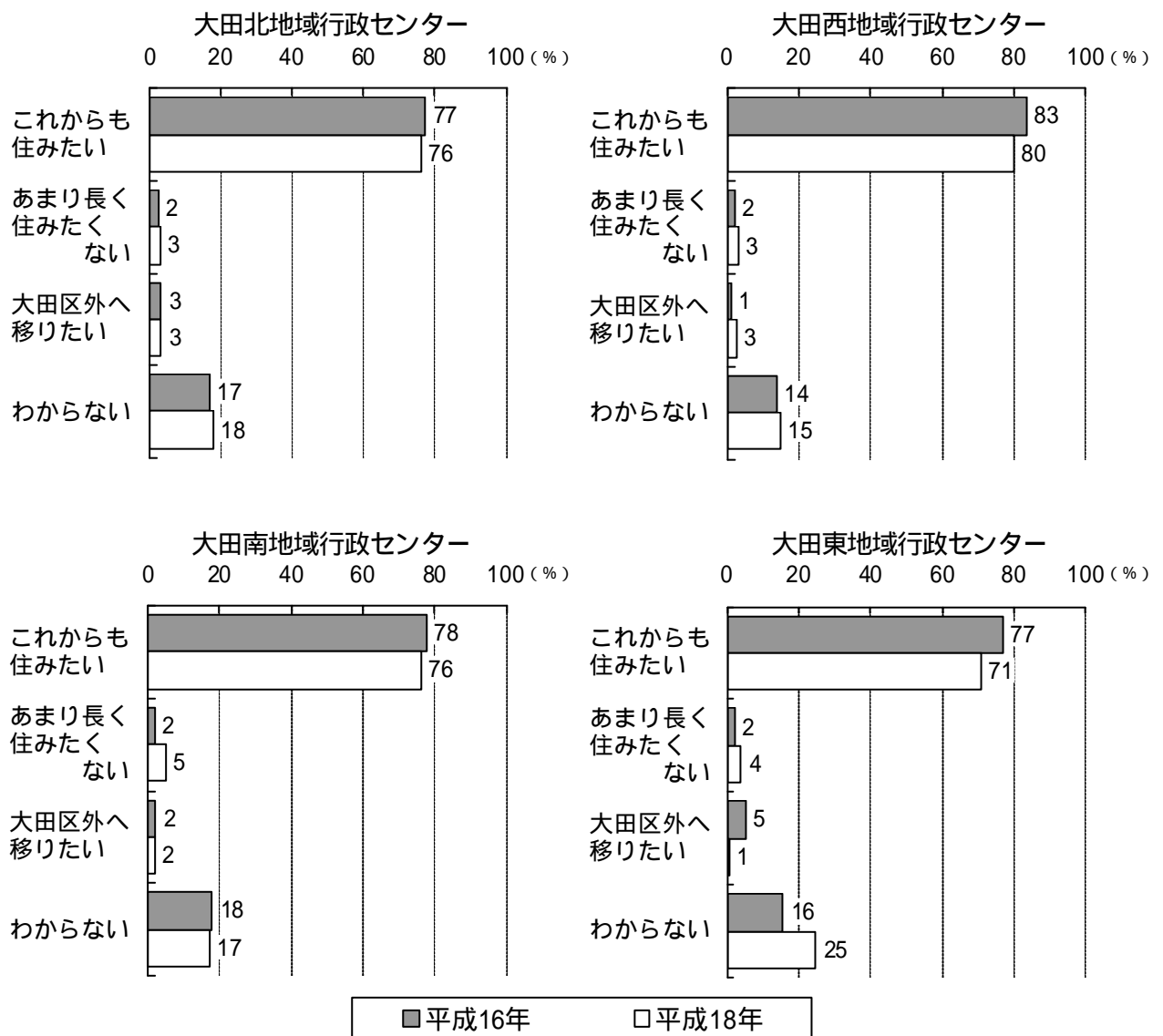
居住開始時期別にみると、「これからも住みたい」はおおむね居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、昭和51年以前から居住を開始した人ではいずれも8割半ばから9割に達している。(図1-2-5)

図1-2-5 定住意向 - 居住開始時期別



地域行政センター管内別の定住意向を前回調査の結果と比較すると、「これからも住みたい」は今回調査でも各管内で7割を超えており、「あまり長く住みたくない」と「大田区外へ移りたい」を合わせた転出意向のある人は、前回と大きな変化はみられない。(図1-2-6)

図1-2-6 定住意向 - 地域行政センター管内別 (過年度比較)



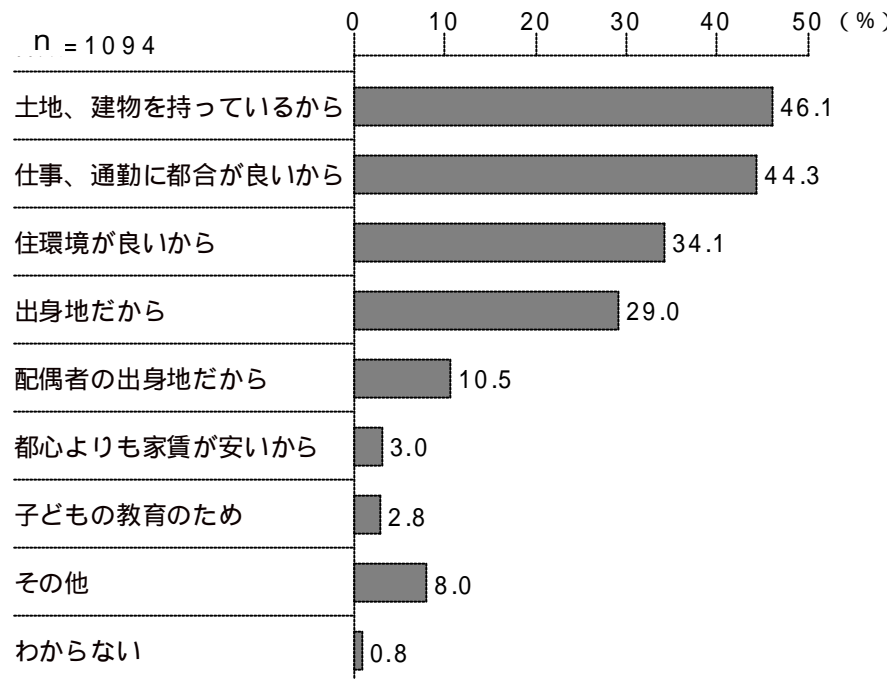
(3) 住みたい理由

「土地、建物を持っているから」、「仕事、通勤に都合がよいから」がともに4割半ば

(問2で「1 これからも住みたい」と回答した方に)

問2 - 1 . これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(いくつでも)

図1 - 3 - 1



大田区に「これからも住みたい」と答えた人(1,094人)にその理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(46.1%)と「仕事、通勤に都合が良いから」(44.3%)がともに4割半ばで多く、次いで「住環境が良いから」(34.1%)、「出身地だから」(29.0%)などの順となっている。

(図1 - 3 - 1)

地域行政センター管内別にみると、大田西地域行政センター管内では「土地、建物を持っているから」が5割半ば、「住環境が良いから」が5割を超えて多くなっている。(図1-3-2)

性別にみると、男性の方が「仕事、通勤に都合が良いから」で14ポイント、「出身地だから」で9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「土地、建物を持っているから」は男女ともに年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男性40代で7割に達し、男性の20代と30代の年代でも6割を超えて多くなっている。「出身地だから」は男性20代では5割に達し、女性20代と男性30代でも4割を超えて多くなっている。(図1-3-3)

図1-3-2 住みたい理由 - 地域行政センター管内別 (上位5項目)

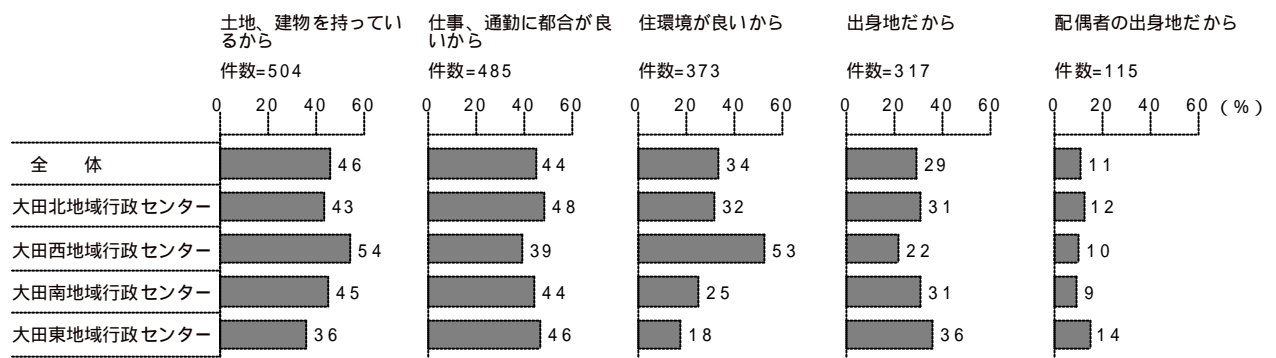
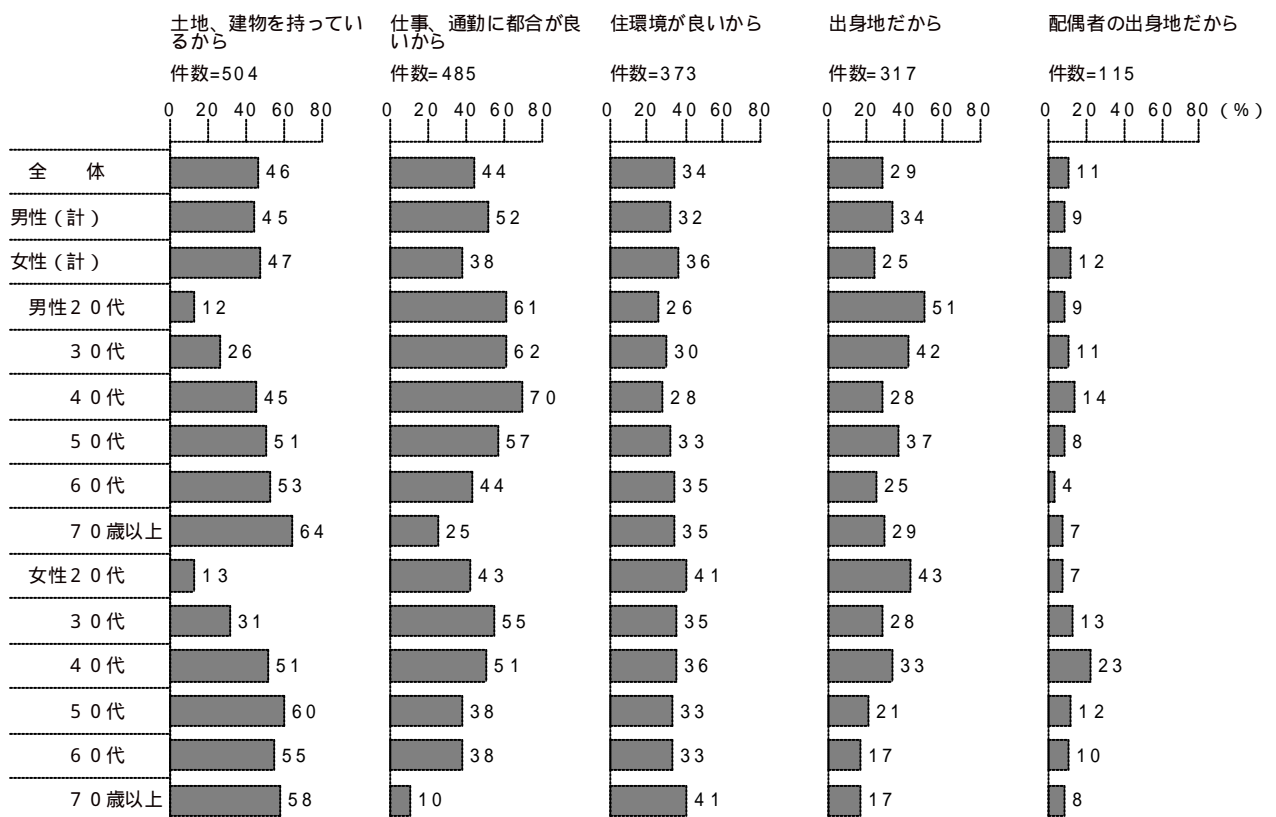


図1-3-3 住みたい理由 - 性・年代別 (上位5項目)



居住開始時期別にみると、「土地、建物を持っているから」は昭和41年以前からの居住者で6割以上を占めて多くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は平成17年以降の居住者でほぼ6割になっている。「出身地だから」は昭和21年以前からの居住者では6割半ばに達し多くなっている。(図1-3-4)

図1-3-4 住みたい理由 - 居住開始時期別(上位5項目)

